



仁川大学の夏期短期研修(異文化理解演習)*に参加しました!

*協定校として授業料・寮費は特別免除(参加人数に上限あり)

【学修成果】

韓国語は独学で勉強していたため、教室で韓国語を勉強すること自体が初めてでした。レベルチェックテストで上級クラスに振り分けられ、これまでの韓国語学習の成果が出たようで嬉しい反面、授業についていけるのか心配でもありました。しかし、授業が始まってみると、先生の教え方がとても丁寧で、楽しく授業を受けることができました。また、寮の管理人さんやお店の人から「韓国語が上手だね」と言っていたことが韓国語学習のモチベーションをさらに高めてくれました。

【生活面】

文化の違いというものが沢山ありました。一番驚いたのはバスの乗り降りです。バス停で乗ることをアピールしないと停車してくれないことに加え、降車ボタンを押しても、交通カードを事前にタッチしてドアの近くにいないと止まってくれないもありました。

また、人との関わりにも文化の違いを感じました。韓国人はとてもやさしく、困っていたらすぐに手を差し伸べてくれることが多いと感じました。そんな時、思わず「すみません」と言ってしまうのですが、ほとんどの韓国人からなぜ謝るのか、素直にありがとうと言え

いよ、と言われました。自分自身も「ありがとう」と言われると気分が良いので、これから日本でも素直に「ありがとう」と言えるようになりたいと思いました。

【安全面】

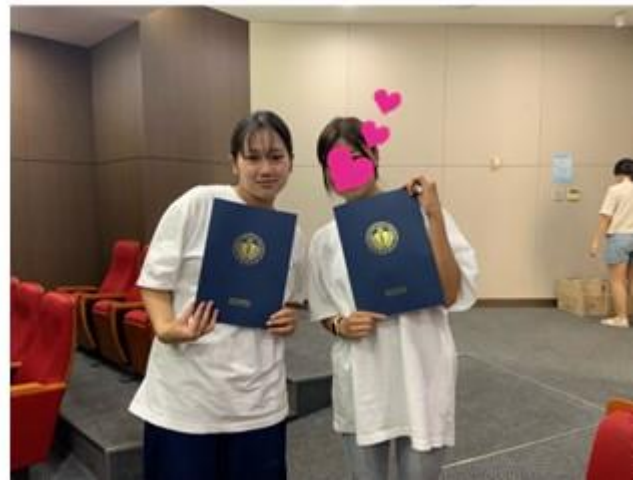
韓国では基本運転が荒いので、きちんと周りを見て歩かないと轢かれそうになることもあり、少し怖いと感じましたが、きちんとその国の文化やルールを知っておくことが大事だと思いました。

【感想】

今回の研修で言語学習の面でも異文化理解の面でも、多くのことを学ぶことができました。一番感じたことは、視野を広げるといよりも自分の視野を自分で狭めることをしてはいけない、ということです。偏見や固定概念にとらわれていると、自身の視野を固定してしまい、いくら視野を広げようとしてもそれが邪魔をしてしまいます。異文化に飛び込んで視野を広げるためには、まず異文化を受け入れる心を持ち、純粋な視点で物事を見る必要があると感じました。

そして、もう一つ感じたことは、たとえ外国であっても、どうにかなるということです。周りの人は国籍に関わらず手を差し伸べてくれるので、あまり心配し過ぎずに、どうにかなるや精神でいることが大切なのかなと改めて感じました。

この研修は私にとって大学生活最後の羽を広げる機会であったと思います。自分の身をもって感じ学んだことを忘れず、羽を広げたまま社会に出ることができるよう、しっかりと心に留めて過ごしていきたいです。



仁川大学の夏期短期研修(異文化理解演習)*に参加しました!

*協定校として授業料・寮費は特別免除(参加人数に上限あり)

【学修成果】

合計 25 時間の韓国語の授業がありました。私は中級-I のクラスで文法を学んだおかげで、曖昧になっていた文法が解決し、さらに自分は副助詞や格助詞が苦手だということにも気づかされました。そして、もっと状況に応じた文法の使い方を知り、活用できるようになりたいと思いました。

異文化体験では、文化村でトンボ結びを使ったプレスレット作り、仁川経済自由区域 IFEZ 広報館、国立世界文字博物館、国立博物館などを訪れました。プレスレット作りでは、歴史の深さを感じ、IFEZ 広報館では 33 回の高さからの仁川の景色を堪能したり、国立世界文字博物館では韓国語の歴史だけでなく、中国語や日本語の成り立ちを学びました。

【生活面】

印象に残ったことが3つあります。1つ目はテイクアウトの違いです。テイクアウトした商品が容器に入った冷凍された食材で、自分で調理しなければいけませんでした。日本ではなかなかないスタイ

ルでしたが、調理して食べると、お店で食べる味と変わらず美味しかったです。

2つ目はコーヒー店の多さです。寮の下にもコーヒーのチェーン店があり、その2店舗先にもコーヒー店があったりと日本以上にコーヒー店があり、値段も日本より安かったです。

3つ目は情が深いということです。研修初日に必要なものを出しに行った際、バディの方が重いものを持ってくれたので、そのお礼にジュースをあげると、とても驚かれました。純粋に相手を想うての行動をしているのだと感じました。

【安全面】

バスに乗車する時は注意をしました。バスに乗車をして IC カードをタッチすると、乗客が席に着く前にドアが閉まり発車するというのが当たり前でした。日本のような転倒防止の考えはあまりないということを知りました。

【感想】

何事にも積極的に取り組むことで世界が違うことを学びました。今回、参加者全員が韓国に興味があるという共通点があったため、自分も含めてみんなが積極的に話していたと感じていました。そのため、積極的に話をしたり、行ったことがないところへ行くことで多くの文化に触れることができたと思います。また、コミュニケーションを加速させるポイントとして、自分の気持ちを素直に言うことも関係構築の1つのコツであるということを知りました。



留学を通じて「将来のために必要な新しい技術や知識を手に入りたい!」と思うようになりました。

【学習面】

韓国語の授業は初級で、ハングルを覚えることからスタートし、数字の数え方、自己紹介、日常生活の表現などを学びました。クイズが頻繁に行われていたので、復習も頻繁にするようにしていました。韓国語の授業はアットホームな雰囲気、150分という授業時間でしたが、毎回楽しんで授業を受けていました。韓国語のレベルはもちろん伸びましたが、それ以上にこの授業で英語力も伸びました。クラスメイトはみんな留学生なので、授業中や休憩時間にたくさん英語を使いました。

その他にも英語開講科目の授業も履修しました。Foundation of Business Englishという授業では、ビジネス英語の基本的なことを学び、将来海外で働くときにとても役に立つ内容だったので、この授業を履修できて本当に良かったと思いました。

【生活面】

海外の人との会話では、会話に“間”がないので、普段からたくさ

んのことを発言していた人の方が会話に入りやすいと感じました。レストランでの注文はタッチパネルが多く、とても便利で、会計もカード払いがほとんどで、現金を使う機会はごく稀でした。

【安全面】

一番注意した方がいいと思ったのは、車の運転が荒いので、よく周りを見て歩くこと。歩行者優先の考え方がないので、車が近づいてきたら、安全のために車が通過するのを待った方がいいことです。

【感想】

今回の留学生活で学んだことは、自分の知識不足と英語力を補うだけの勉強だけでは足りないということです。私はドイツ人のルームメイトといろいろな話をしました。歴史の話、宗教の話、日本の文化の話、人種の話、将来の話など、たくさんの意見を交わしました。その中で、自分がどれだけ無知なのかを思い知らされました。ただ英語を学ぶだけでは中身のある会話ができないことをそこで学びました。「あなたはどう思う?」と聞かれた時、知識が乏しかったせいで、答えを返すことができませんでした。

また、留学生の多くがヨーロッパ出身の学生で、私と同じ英語が第二言語にもかかわらず、流暢に英語を話せて、それぞれが自分の夢のために勉強している姿を見て、自分がいかに遅れを取っているかを思い知りました。

大学卒業までに可能な限り知識をたくさん蓄えたいと思わせてくれた留学でした。



行動することの大切さを知り、常に肯定的に考え、決断選択する力が身につきました。

【学習面】

授業のほとんどが英語で行われます。各自のPCなどを使いながら講義を受けている学生が多いようでした。活水で受講した授業と似たような内容でも、英語や韓国語での説明は耳に新しく、単語力や理解力が身につきました。

【生活面】

日常生活はほとんど韓国語を使っていました。買い物や公共施設では韓国語が必須なので、特に日常会話が上達しました。

また、2つのサークルにも所属したので、近隣大学の学生たちとの交流も多くありました。

休日は、好きな韓国アイドルのライブに行ったり、カフェ巡りをしたり、テーマパークに行ったり、旅行に行ったりしました。韓国人や他

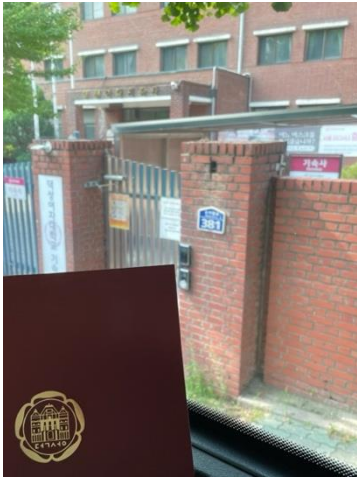
の留学生と一日中日本語ではない言語で話しながら、休日も学びを大切に過ごしていました。ウィッシュリストを作り、一つ一つ達成していき、後悔のないように遊びも全力で楽しみました。

【寮生活】

寮での生活はとても快適でした。ルームメイトがいる期間は、ルールを決めるなどして生活をしました。ルームメイトともいい思い出がたくさんできました。

【感想】

生まれ育った町を離れるのが最初はとても不安でした。しかし、一人で準備・行動することに慣れると、自ら積極的に行動すること、分からないことはすぐに調べることが大切だと感じました。英語や韓国語でのメール、電話が多いことも良い経験になったと思います。この留学で得た知識や経験は一生忘れないものになると思います。



授業料・渡航費・生活費が免除される韓国政府の給付奨学金プログラム*に採用されました!

*「2023 日韓共同高等教育留学生交流事業学部短期過程」

【学習面】

平日は、基本毎日9~16時まで授業があり、科目は「韓日異文化コミュニケーション」「映画で見る日韓の社会と文化」「日韓翻訳実習」「韓国語特講 I・II・III」「文化体験」がありました。日本語と韓国語を混ぜて行われる授業など、授業形態は様々でした。文化体験の授業では、ロッテワールドに行ったり、キンパや伝統菓子を作ったり、韓服を着たりしました。

【生活面】

徳成女子大学はソウルの北にあり、山に囲まれていて、自然豊かなキャンパスでしたが、ソウルの中心部からは少し離れていました。

韓国は、交通費が安く、授業終わりや週末は自由時間だったため、他の研修生や韓国人バディと遊びに行きました。

韓国ではクレジットカード払いが主流なので、私は WOWPASS を利用しました。各駅にチャージする機械が置いてあり、両替所に行かなくても日本円からウォンを引き出すことができ、さらに交通

系カードと一体型になっていることもすごく便利でした。

【異文化の気づき】

韓国人は「パリパリ文化」といわれるほどせっかちだということは知っていたのですが、予想以上でしたが、慣れてしまえば、スムーズさが良いと感じるようになりました。

最もカルチャーショックを受けたものは「トイレ」です。駅や空港、学校、寮ではトイレトペーパーを流すことができたのですが、流せない場所もあり、置いてあるゴミ箱に捨てなければなりませんでした。

【感想】

韓国の方は、自分の気持ち・考えを相手にきちんと言葉で伝える、少し欧米よりだと感じました。また、韓国の学生は勉強への意識がすごく高かったです。資格を取ったり、多言語を習得したりと、大学生になっても勉強を続けていました。

何より私の視野を広げてくれたことは、研修に共に参加した19名の学生に出会えたことです。興味があるから・自分の価値を高めるため・世界を知りたいなどの理由から、自分のやりたいように楽しく学んでいて本当に刺激になりました。

都会で過ごすレベルの高い学生に出会えたこと、韓国社会や韓国人への気づきを得る機会をいただけたことは、私の人生において大きなチャンスだと思っています。これから、もっと語学学習に本腰を入れて取り組み、勉強を頑張りたいと考えています。